



2014 春季生活闘争ニュース

2014.3.10 6号

編集：連合北海道組織労働局

連合北海道は、3月5日(水)18時より札幌市民ホールにて、3.5全道総決起集会を開催し、1500人を超える組合員が結集した。集会後は、札幌市内中心部をデモ行進し、賃金引き上げ、非正規労働者の労働条件改善、労働者保護ルール改悪反対などを訴えた。

冒頭、連合本部 古賀会長の「連合の正念場 2014デフレ脱却にどう挑む」に関するインタビューを上映した。主催者を代表し連合北海道 工藤和男会長は、「春闘の主役は政府でも経済団体でもなく、私たち労働組合である。一つ一つの労働組合の交渉の成果が、デフレの悪循環から脱出させ、社会を覆う閉塞感を打破する、その原動力になることを今一度確認し、最後まで共に闘い抜こう」と力強く挨拶し開会した。

次に、出村事務局長から2014春闘の方針として「すべての構成組織が月例賃金の引き上げにこだわる闘いを進め、デフレ経済の悪循環を絶ちきることが最大のテーマである。来る10日～14日の第1次ゾーンのヤマ場に49組合が、17～21日の第2のヤマ場に25組合が、それぞれ回答引き出しに向けて交渉を積み上げている。要求実現に向け奮闘しよう」と闘争方針が提起された。

産業別組合を代表して、自動車総連 旭川日産労組 舟根委員長と、情報労連 NTT労組 畠山執行委員から、今春闘への取り組みの決意表明があった後、集会決議として、「労働組合のない職場で働く人たちも含めたすべての働く仲間たちと共に、今春闘勝利を目指して最後まで闘い抜くこと」を確認した。また、特別アピールでは、「労働者保護ルールの改悪」、「公務員給与の削減」「特定秘密保護法」に断固反対し、あらゆる不条理と闘う取組を推進することを満場一致で確認した。



雪舞う中をデモ行進中!

最後に林会長代行の発声で「団結ガンバロー」を三唱し、デモ行進へと出発した。19時前後はあいにくの雪模様となったが、「賃金を大幅に引き上げろ!」「格差を是正し、貧困をなくそう!」「大幅賃上げを勝ち取るぞ!」などシュプレヒコールを繰り返して、市民ホールからススキノと札幌駅前方面に別れてデモ行進した。



古賀会長インタビュー上映



連合北海道 工藤会長



団結ガンバロー

2014春闘 交渉のヤマ場を目前に、業界団体、労働局、経済5団体などへ要請行動を実施

2月27日は、日本人材派遣協会北海道協議会、北海道商店振興組合連合会、北海道漁業協同組合連合会、北海道建設業協会、JA北海道中央会、北海道ビルメンテナンス協会を訪問した。午後からは、北海道労働局へ雇用対策の取り組みや、3月3日には経済5団体との労使懇談会、及び北海道への要請も行った。

今後の主な行動予定

3/10～14 8:00～08:30

早朝街宣行動

- 10 地下鉄 琴似駅
- 11 地下鉄 真駒内駅
- 12 地下鉄 新さっぽろ駅
- 13 JR さっぽろ駅南口
- 14 地下鉄 麻生駅